

看護学概論

講師	小川 香織 中村 優香理	実施時期 単位数	第2学年前期 1単位 (20時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	看護の基本的な概念、看護の基本となるものを学び、専門性に応用できる。				
授業概要	看護の概念と基本的看護技術を教授する。これにより医療人として歯科衛生士の担う役割と医療の中の看護の必要性を理解させる。				
学習方法	講義・実習				
成績評価の方法	定期試験(90%)、出席状況(10%)の総合評価				
教科書	全国私立歯科大学・歯学部附属病院看護部長会(編) 「歯科衛生士のための看護学大意」第4版 医歯薬出版				
履修上の注意	高齢化社会が加速化し複雑な合併症を持った患者が増加している。一方で健康に対する意識が深まり、口腔ケアに対する意識も高まっている。そんな中、歯科衛生士の果たす役割も大きい。看護の基本的な概念、看護の基本となるものを学ぶことで、患者との接し方、観察能力を身につけ、専門性に応用できるようになってほしい。				
参考書	国立大学歯学部看護部長会会議(編) 歯科看護ハンドブック				
実務経験のある教員 (概要、科目との関連性)	(小川) 大学病院(口腔外科病棟)勤務経験があり、臨床現場の経験を元に看護の概念、看護の基本等について講義を行う。 (中村) 大学病院での勤務経験があり、臨床現場の経験を元に講義を行う。				

授業計画

[1. 3. 4. 7. 9 : 小川香織 2. 5. 6. 8. 10 : 中村優香理]

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	病院における歯科衛生士の役割	歯科衛生士の活動の場としての診療所、病院の機能について理解し、医療チームの中の歯科衛生士の役割について考える。
2	看護の概念	看護の果たす役割や機能を理解する。
3 4	3:看護技術1 4:看護技術2	3:バイタルサインの機能の正常と異常を理解する。 4:バイタルサイン測定を迅速かつ的確に行う手技を身につける。
5 6	5:看護技術3 6:看護実務1	5:コミュニケーションの基本的な知識や患者の特性に応じた適切な対応や援助について理解する。 患者の安全・安楽を保つための電法や薬物の種類、正しい与薬方法について理解する 6:口腔外科における基本的看護の特徴を理解し、外来・入院患者に対して適切な援助、診療介助ができ、全身状態の観察、対応などを経過に沿って記録する。
7	看護実務2	安全で安心な医療が提供できるように、患者の全身状態の把握や観察を確実に行うことができる。
8	看護実務3	口腔ケアの目的・基本姿勢を理解し、患者に実践できる能力を身につける。 患者の全身状態を把握し、起こりうる危険を予知して緊急時に迅速に適切な対応ができる。
9	看護実務4・5	洗浄・消毒・滅菌の定義と基本的な洗浄・滅菌法を理解し、正しい取り扱いができる。 感染対策として、標準予防策を理解し現場で実践できる。
10	地域医療・関連法	超高齢化社会の到来の状況、高齢者に対する制度等を理解できる。 在宅医療の必要性やチーム医療の連携について理解できる。 歯科衛生士として働くにあたって関係する制度について理解できる。